

年頭のご挨拶

奈良県信用保証協会 会長 松 谷 幸 和



新年あけましておめでとうございます。

令和6年の新春を迎え謹んでお慶び申し上げます。

皆様方におかれましては、平素より当協会の業務に格別のご支援とご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2020年に発生した新型コロナウイルス感染症については、瞬く間に全世界に拡散され特に観光・飲食・サービス業をはじめとして多くの業種に多大なる影響を与えることとなりました。その新型コロナウイルスについても、昨年5月に感染症の分類が変更されたことにより、日本経済も回復に向けて動き出すことになりました。

約4年の間、コロナウイルスと共存してきた中で、私たちの日常生活や企業の経営活動は大きく変化し、「新しい働き方」としてリモートワー

クの導入を進めた企業も多いと思います。このようなインターネットやITを活用した効率化の流れは今後もますます進んでいくものと思われるます。

その一方で、県内の中小企業・小規模事業者を取りまく経営環境は、経営者の高齢化による休廃業の増加や人手不足の深刻化などの不安材料を抱えております。加えて、ロシア軍によるウクライナへの軍事侵攻の長期化やイスラエル軍によるガザ地区への攻撃などの不安定な世界情勢、また円安進行による輸入価格の高騰などの懸念材料も多く抱えております。

そのような中、奈良県信用保証協会では様々な局面で必要とされる多様な資金需要に対し迅速に応えるとともに、収益力向上、事業承継など経営支援メニューを用意し、経営課題解決の支援を積極的に行っております。

地域に根差し、地域経済の発展に寄与すべく努めてまいりますので今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年（2024年）の干支は

「甲辰（きのえたつ）」です。「甲」は生命や物事の始まり、「辰」は活気にあふれる様子を表すと言われています。「甲」と「辰」の合わさる「甲辰」である2024年はこれからの成長をさらに形作っていく年という意味になるそうです。

また、私も奈良県信用保証協会にとっても本年12月に設立75周年を迎えることになります。この間、多くの関係機関、関係者の方々のご支援・ご協力をいただきました。常に初心を忘れずに、これからも県内中小企業、小規模事業者の皆様とともに、より一層の成長を目指していきけるよう邁進してまいりたいと思っております。

最後になりましたが、奈良県中小企業団体中央会並びに会員の皆様にとって輝かしい年となりますことを祈念致しまして年頭のご挨拶とさせていただきます。